



一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 会報

静臨技ニュース

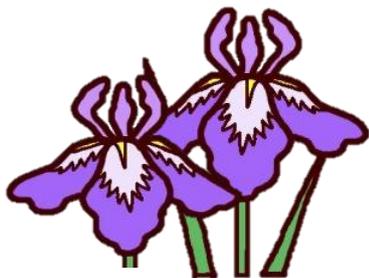
第279号

発行所／(一社)静臨技渉外広報部 〒422-8062 静岡市駿河区稲川1-1-15 ヴィラセーユー稲川207

TEL.054(287)6337 FAX.054(287)4113

発行者／横地 常広 編集責任者／松岡 敏彦 発行日／平成25年6月1日 印刷所／小林クリエイト(株)

6月号の内容



ハナショウブ (花菖蒲) : アヤメ科

- ◆ 静臨技よりお願い 1
- ◆ 静臨技会員名簿作成についてのお願い 2
- ◆ 静岡県医師会精度管理調査梱包作業終了報告 3
- ◆ 研修会終了報告 4
- ◆ 【会員投稿】私の癒し“フライフィッシング” 5～6
- ◆ 6月・7月の行事予定 6
- ◆ 研修会・講習会案内 7～9
- ◆ 会員の異動 10～11

静臨技よりお願い

6月22日(土)に開催いたします

第4回 静岡県医学検査学会
平成25年度 定時総会

ならびに

一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会
創立60周年および一般社団法人への移行記念式典には

是非多数の会員・賛助会員の皆様の参加をお願い致します。

第4回 静岡県医学検査学会

日時：平成25年6月22日(土)
 受付 9:00～
 学会 9:30～14:10
 通常総会 14:20～16:00

場所：あざれあ(静岡市)



一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

組織部より

平成25年度静臨技会員名簿作成についてのお願い

静臨技会員及び賛助会員の皆様には、日ごろより当会の事業活動にご理解とご協力を賜り深謝申し上げます。

組織調査部では本年度も静臨技会員名簿を作成し、会員の皆様にご利用いただけるよう準備を進めております。名簿作成用のデータは7月1日時点の日臨技総合情報システム(JAMTIS)より抽出して用います。

会員情報・登録施設情報 (名称・連絡先) に変更がある場合や新会員登録をする場合には、早めに日臨技へ変更手続き (日臨技HP参照) を行って下さい。

特に新会員の登録は、入金確認などによりデータに反映されるまでに日数を要します。



責任者と連絡責任者や**E-mail アドレス**に変更がある場合は、

6月21日(金)までに静臨技事務所へE-mailまたはFAXでご連絡ください。

(内容が明確であれば書式は限定しません。)

賛助会員におかれましては、担当者や連絡先などに変更がある場合には、6月21日(金)までに静臨技事務所へE-mailまたはFAXでご連絡いただきますようお願いいたします。

(内容が明確であれば書式は限定しません。)

お手数をおかけしますがご協力をお願いいたします。

尚、手続きのタイミングによってはJAMTISのデータの更新が遅れ、今年度会員名簿に反映されない場合もありますのでご了承ください。

静臨技会員数 2013/5/20 現在
1,465名 日臨技総合情報システムより

平成 25 年度 静岡県医師会精度管理調査 梱包作業終了報告

学術部 静岡県医師会精度管理調査 総括担当 藺田明広

5月14日（火）に中北薬品・焼津営業所をお借りして、静岡県医師会精度管理調査試料の梱包作業を行いました。今年度から Web を利用した精度管理調査となり、約 1 ヶ月以上かけて準備を進めていただき、作業が難航したため梱包作業前夜までかかってやっとの思いでここまでこぎつけました。

梱包作業は、中北薬品さん、シノテストさんのご協力も得て総勢 21 人で行い、スムーズに作業を終えることができました。

成績回答入力締め切り後は、早々に集計作業に入り、その後、中間報告へと作業は終わる事無く年末の報告会へと続きます。委員の皆さんには本当に大変なこのボランティア作業、引き続き頑張ってくださいますようお願い致します。



みなさんお疲れ様でした

研修会終了報告

研修会名	平成 25 年度 第 1 回 臨床化学研究班研修会
開催日	平成 25 年 4 月 13 日 (土)
会場	静岡赤十字病院別館 3 号館 研修室
参加人数	44 人
研修会内容	<p>まず、アボットジャパン株式会社 事業企画室の澤野 薫先生に B 型慢性肝炎治療における HbsAg 定量の臨床的意義について説明を受けました。具体的には、B 型慢性肝炎の治療、核酸アナログ薬治療、IFN 治療と HbsAg 定量等についてです。</p> <p>次に静岡県立総合病院 総合診療科センター長の袴田 康弘先生に「普通は流してしまうデータのすこし踏み込んだ解釈」と題して実際の症例を示しながら非常に分かり易く解説して頂きました。</p> <p>好評ですので、ぜひ次回もお願いしよう！と計画しています。</p> <p>次回もぜひご参加下さい。</p>



研修会名	平成 25 年度 第 1 回 血液研究班研修会
開催日	平成 25 年 4 月 20 日 (土)
会場	静岡市立静岡病院 12F 講堂
参加人数	99 人
研修会内容	<p>第 1 回目の血液検査研究班研修会は「血液検査の基礎～緊急検査で求められる知識の習得～」と題し、三菱化学メディエンスの澤畑一樹先生に PT・APTT の基礎的なお話しを、また富士市立中央病院の藤井常宏先生に「臨床医が検査技師に求める知識」と題し、講演していただきました。両講演とも非常に分かりやすく今後の仕事にすぐにでも活用できる内容となっていました。</p> <p>100 名近くの方に参加して頂き、また参加者の中には新たに血液検査に配属された新人の技師の方も見受けられ、新年度の始まりと共に今後も内容の濃い研修会を開催していきたいです</p>

研修会名	平成 25 年度 第 1 回 一般研究班研修会
開催日	平成 25 年 4 月 27 日 (土)
会場	浜松市地域情報センター
参加人数	43 人
研修会内容	<p>細胞検査士の立場から尿中異型細胞の鑑別ポイントについて病理細胞診、尿沈渣の両面からご講演いただきました。パパニコロウ染色とステルンハイマー染色との対比は大変勉強になりました。多くの症例とスライドをご提示いただき、受講生は食い入るように聴講していました。</p> <p>GW の初日にもかかわらず 43 人が参加し、尿中異型細胞について関心の高さをうかがえました。</p>



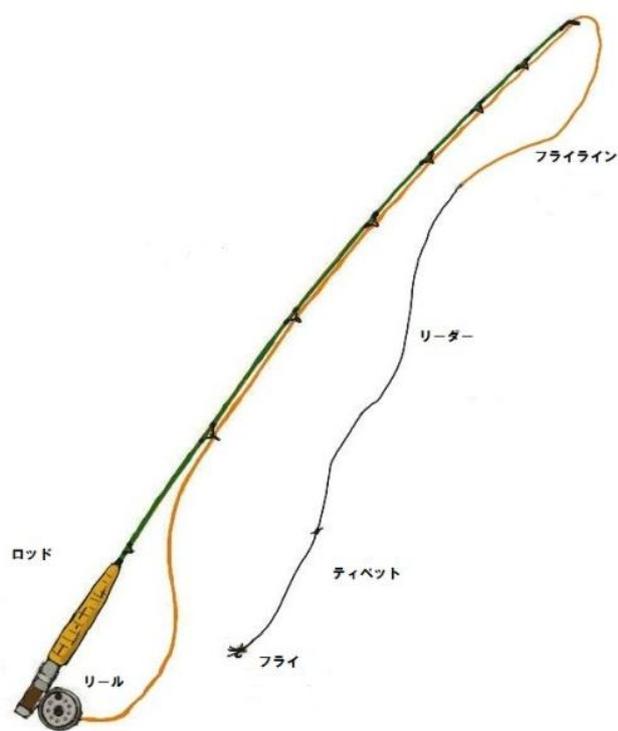
私の癒し “フライフィッシング”

順天堂大学医学部附属静岡病院 勝又 俊郎

風薫る五月、青葉をわたる風も快く感じられ一年で一番爽やかな季節となり、私はこの季節になるとやたらと溪流が気になります。待ちに待ったフライフィッシング日和となってきました。十数年前にフライフィッシングに出会い、飽きずにどっぷりとハマっている趣味の一つです。そんな私の趣味ですが興味があったら読んでください。

まずフライフィッシングって何？から始めますと、フライ (fly) という用語は飛ぶ (flying) 昆虫を模擬した物を指すもので、魚のエサとなる主に水生昆虫を模擬して作った疑似餌 (毛ばり) による釣りです。溪流でのフライフィッシングは2つの釣り方があります。1つ目はフライ (毛ばり) を水面に浮かせて釣る”ドライフィッシング”と、フライを沈めて釣る”ニンフフィッシング”です。ドライフライは亜成虫 (ダン) や成虫 (スピナー) を模擬したもので、水面から飛び出したものです。ニンフフライは幼虫 (ニンフ) を模擬したもので、水中の石の裏などに隠れて生活する川虫のことです。フライを”浮かせる”と”沈める”の違いから、使用するフライだけでなく仕掛け、釣り方のテクニックなどまでが変わってきます。

と、遅れましたが何を釣るかと言いますと、ヤマメ、アマゴ、イワナといった溪流に生息する非常に綺麗な魚です。しかし警戒心が強く、さうとう神経質な釣りを強いられます。だからこそ釣り上げた時は格別な満足感を得られます。



私はドライフライを使う”ドライフィッシング”を専門に楽しんでいます。フライフィッシングは何が楽しいのかと聞かれ考えると、いくつもの要素があると考えます。魚を釣ることは当然ですが、一つにはフライキャストです。フライフィッシングの道具は、簡単に説明するとロッド (竿)、リール、フライライン、リーダー、ティベット、フライで構成されています。これらの仕掛けを使い、軽いフライを目的のポイントまで飛ばす技術がキャストです。かなりの練習が必要となります。これを習得しイメージ通りにキャストし、フライをここだと思ふポイントに投げ入れ、魚がヒットしたときにはこの釣りの魅力を感じ満足感が得られます。

ドライフライの代表



次の要素としてフライタイイング（毛ばり作り）です。上の写真のようなフライを作る事も楽しみの一つで、専用の道具を使い、鳥の羽根、鹿の毛、特殊な糸など専用のいくつかの種類の材料を使い作り上げていきます。今の季節ではこんな虫が飛んでいるから、形・色・大きさ考え、「これなら魚が飛びつくぞ」と魚がヒットするイメージを思い浮かべ、細かな作業を黙々と続け作成します。当然自作のフライでヒットしたときには何とも言えない満足感で、この釣りの醍醐味です。フライフィッシングの楽しみはいくつかの要素が存在し、人によりどの要素を重要視するかによって、面白さもまた違ってくるものです。しかし私は、それ以上に“自然との一体感”がフライフィッシングの一番の魅力ではないかと考えます。自然に溶け込みマイナスイオンに心も体も癒され、忙しい毎日をリセットし明日からの活力を得ています。簡単なフライフィッシングの紹介でしたが、興味のわいた方は是非挑戦してみてください。県内にはいくつかのフライフィッシングに適したフィールドがあり、魚たちも待っています。

尚、釣った魚は「サンキュー、またねー」と言って放します。キャッチ&リリースです。



平成25年 6月・7月の行事予定

6月

- | | |
|------------------------------|-------------|
| 14日（金）平成25年度 第1回 病理細胞研究班研修会 | ：沼津市立病院 |
| 22日（土）第4回 静岡県医学検査学会 | ：あざれあ |
| 平成25年度 定時総会 | ：あざれあ |
| 一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 | |
| 60周年記念・法人移行記念式典および祝賀会 | ：グランドホテル中島屋 |
| 28日（金）静岡県標準化事業 第8回 東部地区意見交換会 | ：三島市民文化会館 |

7月

- | | |
|-------------------------------|-------------|
| 6日（金）平成25年度 第2回 血液研究班研修会 | ：ニッセイ静岡駅前ビル |
| 13日（土）平成25年度 第2回 輸血研究班研修会 | ：アクトシティ浜松 |
| 13日（土）～14日（日） | |
| 栄養部会・臨床検査部会合同セミナー 2013 | ：あざれあ |
| 20日（土）平成25年度 第1回 静岡県標準化委員会講習会 | ：静岡県立総合病院 |

臨床検査関連研修会・講習会 (1)

平成 25 年 5 月 20 日までに申請を受理し承認された研修会等を、下表のとおりお知らせします。

平成 25 年 (6) (敬称略)

日時・会場・参加費	研修内容・講師 (敬称略)	点数・担当・連絡先
6月14日(金) 18:30~20:30 沼津市立病院 会員 300円 賛助会員 300円 非会員 600円	平成25年度 第1回 病理細胞研究班研修会 ≪症例提示施設≫ ・静岡医療センター ・国際医療福祉大学熱海病院 ・順天堂大学医学部附属静岡病院 ・静岡がんセンター 婦人科・呼吸器・その他の症例を提供しスライド鏡検にて会員相互でディスカッションを行う 共催：日本臨床細胞学会静岡県支部	No. (130003748) 検体—専門—20点 静岡県立 静岡がんセンター 本田 勝丈 (055-989-5222)
6月22日(土) 9:00~14:10 男女共同参画センター あざれあ 会員 1,000円 賛助会員 1,000円 非会員 2,000円	一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 第4回 静岡県医学検査学会 【一般演題】8題 【教育講演】『日臨技としてのチーム医療への取り組み』 日臨技チーム医療推進検討委員会委員長 奥田 勲 先生 【ランチョンセミナー】3題 【シンポジウム】4題 『チーム医療と求められる臨床検査技師』 会員カードを持参してください	No. (130001432) 学会—専門—20点 聖隷三方原病院 山口 浩司 (053-436-1251)
6月22日(土) 14:20~15:40 男女共同参画センター あざれあ	一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 平成25年度 定時総会 会員カードを持参してください	No. (130001443) 組織—基礎—30点 聖隷三方原病院 山口 浩司 (053-436-1251)
6月28日(金) 18:30~20:30 三島市民文化会館 第一会議室 参加費 500円	静岡県標準化事業 第8回 東部地区意見交換会 ① 再検査前のデータを臨床に啓示する試み 聖隷沼津病院 検査科 伊藤 勇気 技師 ② 東部地区 基準範囲アンケート調査報告 JA 静岡厚生連リハビリテーション中伊豆温泉病院 臨床検査科 原 宣紀 技師 各施設間の意見交換 今回は【再検値の報告法】と【東部地区 基準範囲アンケート結果】をテーマに各施設での対応法や自施設と他施設の基準値を改めて、確認して頂く予定です。	No. (130008417) 検体—専門—20点 順天堂大学医学部 附属静岡病院 児玉 由美子 (055-948-3111)

臨床検査関連研修会・講習会 (2)

日時・会場・参加費	研修内容・講師（敬称略）	点数・担当・連絡先
<p>7月6日（土） 14：00～17：00</p> <p>ニッセイ静岡 駅前ビル</p> <p>会員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円</p>	<p>平成 25 年度 第 2 回 血液研究班研修会</p> <p>『 血算の基礎 ～ 実践に必要な知識 ～ 』 沼津市立病院 臨床検査科 杉澤 きよ美 技師</p> <p>『 血液分析装置のフローサイトメーター 機能を用いた臨床支援 』 静岡市立清水病院 検査技術科 府川 早樹子 技師</p> <p>『 肺塞栓症予防対策と肺塞栓症の予知は可能か 』 浜松医療センター 病院長 小林 隆夫 先生</p> <p>日当直でも必要な知識の勉強会になりますので、 血液検査に携わっていない方もぜひ御参加下さい。</p>	<p>No. (130005403) 検体—専門—20 点 三島社会保険病院 大橋 勝春 (055-975-5545)</p>
<p>7月13日（土） 14：00～17：00</p> <p>アクトシティ浜松 研修交流センター 52 研修交流室</p> <p>会員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円</p>	<p>平成 25 年度第 2 回 輸血研究班研修会</p> <p>1. 血液製剤の取り扱いについて 静岡県赤十字血液センター 学術・品質情報課 河合 和史 先生</p> <p>2. ヒヤリ・ハット事例から学ぶ輸血療法の リスクマネジメント バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社 診断薬事業部 カスタマーサポート部 小黒 博之 先生</p> <p>第 1 部は、血液センターの河合先生に血液製剤の 取り扱いに関する講演</p> <p>第 2 部は、バイオ・ラッドの小黒先生に輸血療法の リスクマネジメントに関する講演</p>	<p>No. (130005548) 検体—専門—20 点 市立島田市民病院 亀山 拓哉 (0547-35-2111)</p>
<p>7月13日（土）～ 7月14日（日）</p> <p>男女共同参画センター あざれあ</p>	<p>日本未病システム学会 栄養部会・臨床検査部会合同セミナー 2013</p> <p>【テーマ】 「社会における食・栄養・臨床検査のかかわり」</p> <p>7月13日 13：00～17：00 宿泊者はワークショップ・ナイトディスカッション</p> <p>7月14日 9：30～14：30 15：00～ 公開講座「未病のための暮らし方」</p> <p>※講演内容・申し込みやお問い合わせは同封の 開催案内を参照して下さい。 ホームページでも確認できます。</p>	<p>No. (130008350) 教育—基礎—30 点 富士市立中央病院 岩崎 佐知子 (0545-52-1131) 内線 (2280)</p>

臨床検査関連研修会・講習会 (3)

日時・会場・参加費	研修内容・講師（敬称略）	点数・担当・連絡先
<p>7月20日（土） 13：30～17：00</p> <p><u>（注）開始時間を13：30に変更しましたのでご注意ください</u></p> <p>静岡県立総合病院 循環器センター6階 つつじホール</p> <p>会員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円</p>	<p>平成25年度 第1回 静岡県標準化委員会講習会</p> <p>1、平成24年度日臨技および静臨技臨床検査 データ標準化事業報告（全国代表者会議報告） 静岡県標準化委員会 藺田 明広 技師</p> <p>2、点滴ライン採血の可能性を疑った事例報告から 日常の検査業務の中で、採血の不具合によるデータ異常を的確に見つけ、採り直しを依頼して正しいデータを返すことは、技師として非常に大事な役割かと思えます。今回は、点滴ラインからの採血の可能性を疑った事例において、どのような点に着眼し、臨床情報をどのように活用して対応したか、また、患者の病態やNST回診などでもよく遭遇する輸液の話にも触れながら事例紹介をしてもらいます。</p> <p style="text-align: center;">静岡県立総合病院 村越 大輝 技師</p> <p>【特別講演】 抗癌剤治療の現状 ～ 消化器癌を中心に ～ 静岡県立総合病院 腫瘍内科 主任医長 多久 佳成 先生</p> <p>抗癌剤治療について幅広く解説していただく中で、化学療法の治療効果の判定や治療による副作用の状況把握にどのような検査が指標として使われ、データをどのように判読するかなどについても症例を紹介していただきながらご講演いただく予定です。</p>	<p>No. (130001544) 検体—専門—20点 静岡県立総合病院 藺田 明広 (054-247-6111)</p>
<p>9月14日（土） 13：30～18：30</p> <p>アクトシティ浜松 研修交流センター 6階62研修室</p> <p>研究会会員 1,000 円 <u>当日の入会可</u></p>	<p>静岡県寄生虫症研究会 第18回研究総会</p> <p>【特別講演】 『赤痢アメーバ症の診断：近縁種との鑑別と多型解析』 東海大学医学部 基礎医学系生体防御学 橘 裕司 先生</p> <p>橘先生の特別講演と寄生虫症研究会会員の皆様による一般講演の発表を予定しています。</p>	<p>No. (120001532) 検体—専門—20点 遠州病院 外波山 幸稔 (053-453-1111)</p>

渉外広報部より

☆会員投稿募集 ☆

技師会では会員の皆様の原稿を募集しています。ジャンル等は問いません。
ご意見・情報等お待ちしております。
渉外広報部（編集責任者）松岡敏彦まで t.matsuoka@hmedc.or.jp